

平成 19 年度障害者自立支援調査研究プロジェクト 事業実施報告概要

事 業 名	精神科診療所に通院する以外に社会参加していない精神障害者の実態調査及び精神科診療所の社会参加サポート機能の強化に係る調査研究事業
事 業 目 的	これまで把握されていなかった外来通院する以外に社会参加していない精神障害者（仮称：外来ニート者）の実態を明らかにする。その上で、これらの患者に対して実際にケースワークを試行し、その効果を評価し、精神科診療所として精神障害者の社会参加を支援するために実施すべき、あるいは実施可能なサポート・メニューを明らかにする。地域の精神保健福祉サービスの中で最も数が多く、かつ数多くの精神障害者に関わっている精神科診療所のケースワークを中心とする社会参加サポート機能が充実されれば、効率的に精神保健医療福祉改革ビジョンの目指す、「入院医療中心から地域生活中心へ」という基本の方策に大きく寄与できると考える。
事 業 概 要	実態調査：日本精神神経科診療所協会会員診療所から 400 頃所をランダム抽出し、調査票を送付した。任意の一日に受診した全患者について、性別、年齢、病名、病歴、生活形態、日中活動、受けているケースワークの内容、診療所の職員配置や形態等を調査した。 訪問調査：12 診療所を抽出し、統合失調症者中の外来ニート者について調査した。 社会参加サポートの試行事業調査：7 診療所にケースワーカーを派遣し外来ニート者に対してケースワークを行い、社会復帰施設の利用や就労等の社会参加状況の変化、本人・家族の満足度等を調査した。
事業実施結果 及び効果	実態調査：調査当日の受診患者総数は 5770 名、その内、うつ病圏の患者は 1925 名で 33.3%、統合失調症圏の患者は 1294 名 22.4% であった。1 年以上の外来ニート者は 950 名で受診者全体の 16.8%、統合失調者 23.8% を占めていた。 訪問調査：統合失調症で外来ニート者の総数は 464 名で統合失調症者の約 27% を占めていた。 社会参加サポートの試行事業調査：43 名の外来ニート患者にケースワークを行った。中断者もあったが対象者の満足度は概ね高く、社会参加への効果も認められた。
事 業 主 体	〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-38-2 ミヤタビル 802 社団法人 日本精神神経科診療所協会 電話 03-3320-1423 ; E-MAIL: office@japc.or.jp